

様式第2号の2（第4条、第17条関係）

定期自主検査表

検査実施年月日	管理権原者	防火（防災）管理者	検査者	その他
年 月 日				

実施項目		確認箇所	検査結果	備考
建物構造	基礎部	上部の構造体に影響を及ぼす沈下・傾き・ひび割れ・欠損等がないか。		
	柱・はり・壁・床	コンクリートに欠損・ひび割れ・脱落・風化等はないか。		
	天井	仕上材にはく落・落下のおそれのあるたるみ・ひび割れ等がないか。		
	窓枠・サッシ・ガラス	窓枠・サッシ等には、ガラス等の落下又は枠自体の外れのおそれのある腐食、緩み、著しい変形等がないか。		
	外壁・ひさし・パラペット	外壁（貼石・タイル・モルタル・塗壁等）等の仕上材に、はく落・落下のおそれのあるひび割れ・浮き上がり等が生じていないか。		
	屋外階段	各構成部材及びその結合部に、緩み・ひび割れ・腐食・老化等はないか。		
	手すり	支柱が破損・腐食していないか。取付部に緩み・浮きがないか。		
	消防隊非常用 進入口	表示されているか。また、進入障害はないか。		
防火施設	外壁の構造及び 開口部等	①外壁の耐火構造等に損傷はないか。		
		②外壁の近く及び防火戸の内外に防火上支障となる可燃物の堆積及び避難の障害となる物品等を置いていないか。		
		③防火戸は円滑に開閉できるか。		
	防火区画	①防火区画を構成する壁、天井に破損がないか。		
		②階段内に配管、ダクト、電気配線等が貫通していないか。 ③自動閉鎖装置（ドアチェック等）付の防火戸等のくぐり戸が最後まで閉まるか。 〔確認要領〕・常時閉鎖式は最大限まで開放して閉まるのを確認する。 ・煙感知器連動閉鎖式は、防火戸を止めているマグネット等を手動により外し自動的に閉鎖するのを確認する。		
		④防火シャッターの降下スイッチを作動させ、防火シャッターが最後まで降下するか。 ⑤防火戸・防火シャッターが閉鎖した状態で、隙間が生じていないか。 ⑥防火ダンパーの作動状況は良いか。		
避難施設	廊下・通路	①有効幅員が確保されているか。		
		②避難上支障となる設備・機器等の障害物を設置していないか。		
	階段	①手すりの取付部の緩みと手すり部分の破損がないか。		
		②階段室の内装は不燃材料になっているか。 ③階段室に設備・機器等の障害物を設置していないか。 ④非常用照明がバッテリーで点灯するか。		

	避難階の避難口 (出入口)	①扉の開放方向は避難上支障ないか。 ②避難扉の錠は内部から容易に開けられるか。		
	避難階の避難口 (出入口)	③避難階段等に通ずる出入口の幅は適切か。 ④避難階段等に通ずる出入口・屋外への出入口の付近に障害物はないか。		
火気設備器具	厨房設備（大型レンジ、フライヤー等）、ガスコンロ、湯沸器	①可燃物品からの保有距離は適正か。 ②異常燃焼時に安全装置は適正に機能するか。 ③ガス配管は亀裂、老化、損傷していないか。 ④油脂分を発生する器具の天蓋及びグリスフィルターは清掃されているか。 ⑤排気ダクトの排気能力は適正か。また、ダクトは清掃されているか。 ⑥燃焼器具の周辺部に炭化しているところはないか。		
	ガストーブ、石油ストーブ	①自動消火装置は適正に機能するか。 ②火気周囲は整理整頓されているか。		
電気設備	変電設備	①電気主任技術者等の資格を有する者が検査を行っているか。 ②変電設備の周囲に可燃物を置いていないか。 ③変電設備に異音、過熱はないか。		
	電気器具	①タコ足の接続を行っていないか。 ②許容電流の範囲内で電気器具を適正に使用しているか。		
危険物施設	少量危険物 貯蔵取扱所	①標識は掲げられているか。 ②掲示板（類別・数量等）には、正しく記載されているか。 ③換気設備は適正に機能しているか。 ④容器の転倒、落下防止措置はあるか。 ⑤整理清掃状況は適正か。 ⑥危険物の漏れ、あふれ、飛散はないか。 ⑦屋内タンク、地下タンクの場合に、通気管のメッシュに亀裂等はないか。		
	指定可燃物 貯蔵取扱所	①標識は掲げられているか。 ②貯蔵取扱所周囲に火気はないか。 ③整理整頓（集積）の状況は良いか。		
備考	構造関係 防火関係 避難関係	火気設備器具 電気設備 危険物施設		

備考 不備、欠陥がある場合には、直ちに防火管理者に報告するものとします。

凡例 良－○ 不備欠陥－× 即時改修－△ 不備欠陥後改修－⊗